

第22回全日本スノーボード技術選手権大会選考会兼 2024-2025東海北陸ブロック スノーボード技術選手権大会 2025.1.19(SUN)

2024-2025東海北陸ブロックスノーボード技術選手権大会 <開催要項>

【会期】 2025年1月19日(日)

【会 場】 富山県 あわすのスキー場

【主催】 公益財団法人全日本スキー連盟 東海北陸ブロックスノーボード委員会

【主 管】 富山県スキー連盟(教育本部スノーボード部)

【大会事務局】 富山県スキー連盟 教育本部 スノーボード部 三谷 和之 Tel:090-8960-8131

【本部宿舎】 立山山麓温泉 ペンション愛花夢 (〒930-1455 富山県富山市本宮3)

【競技方法】 女子総合、男子総合 競技は3種目、スタート順は女子から男子とし、各班内のローテーションを行います。 審判は各種目5審判3採用とします。

【出場資格】 ① 2024年4月1日現在16歳以上であり、SAJスノーボードバッジテスト1級以上と同等の技術を有する者。

② 各保険会社のスノーボード障害保険に加入している者。

【申込方法】 下のQRコードをスマホカメラで読み込み、申込フォームから申込締切日までに申し込みください。



※ 下記のURLからもお申し込みできます。

https://forms.gle/CgxSsAYmh22H4HaZ7

【申込締切】 2025年1月10日(金) 23:59まで

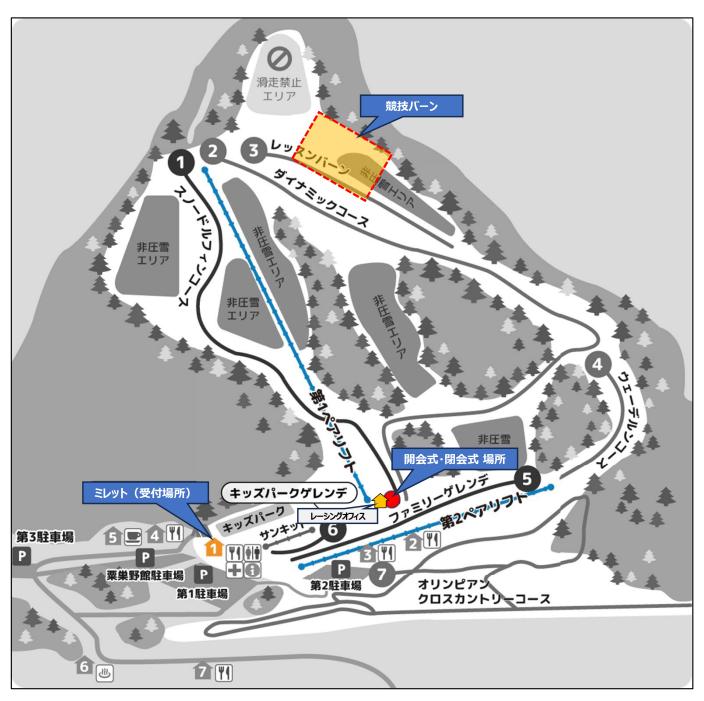
【参加料】 9,000円

【表彰】 女子総合 1位~3位 男子総合 1位~3位

【その他】 1 本大会は、第22回全日本スノーボード技術選手権大会の選考会とする。

- ② 宿舎は個人で手配してください。
- ③ 大会が中止になった場合、参加料の返金はしませんが本大会に出場したことを認めます。

2024-2025東海北陸ブロックスノーボード技術選手権大会 <会場図>



<ゲレンデ情報>

面積 22ha / 標高 600~825m / 標高差 225m

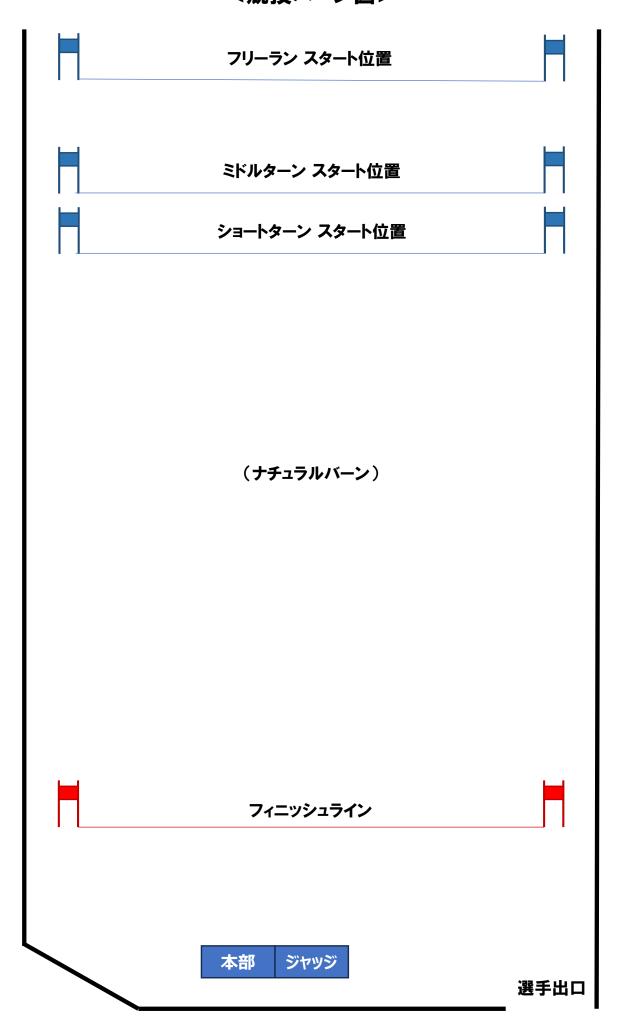


 初級 リフトデビューに
 ファミリーゲレンデ 距離 350m / 最大斜度12° / 平均斜度7°
 初心 サンキッドで楽々登板!
 キッズパークゲレンデ 距離 60m / 最大斜度8° / 平均斜度6°
 中級 スノーシューも楽しめます。
 オリンピアンクロスカントリーコース 距離 3,000m / 最大斜度55m

■周辺の施設

施設名	電話番号
⚠ 多目的センター ミレット	076-460-3688
፟ ゲストハウス しろいきせき	076-482-1240
③ ロッジ 松井山荘	076-482-1735
⚠ ロッジ 平井山荘	076-482-1876
ⓑ KAKI's cafe	076-481-1484
슙 ホテル 森の風立山	076-481-1126
か プモ・リ	076-481-1057

2024-2025東海北陸ブロックスノーボード技術選手権大会 <競技バーン図>



2024-2025東海北陸ブロックスノーボード技術選手権大会 <タイムテーブル>

1月18日(土)

時間	内容	場所
13:00 ~ 15:00	公開練習	レッスンバーン(右部)

1月19日(日)

時間	内容	場所
7:00	役員・前走集合 会場準備	多目的センター ミレット
7:30 ~ 8:00	選手受付	多目的センター ミレット
8:15	開会式	第一ペアリフト 乗り場付近
9:15 ~ 9:45	インスペクション	レッスンバーン(右部)
9:45	選手点呼開始	レッスンバーン(右部) スタート地点
9:55	前走スタート	
10:00	競技開始 ① ミドルターン ② ショートターン ③ フリーラン	レッスンバーン(右部)
12:30	競技終了予定	
	(リザルト作成)	
14:30	閉会式・表彰式 ※競技終了後、2時間を目安	第一ペアリフト 乗り場付近

2024-2025東海北陸ブロックスノーボード技術選手権大会 <競技規則>

〇 競技規則

全日本スキー技術選手権大会運営細則に順ずる。

○ ヘルメット等の着用に関して

競技中は、ヘルメットを着用しなければならない。

○ ビブの着用に関して

インスペクション当でコート内に入る場合は、必ずビブを外側に着用すること。

○ コートインスペクションに関して

コート設定護のインスペクションは原則としてコート外から行う。ただし必要があるときは事前に告知、通告し 横滑りによりコート内に入れることがある。(今大会はコート内にてサイドスリップで行う。)

○ スタートの要領に関して

- ① 選手は各種目ともスタート地点に10分前に集合し、スタート審判の点呼を受け応答しなければならない。 なお、点呼に間に合わないときはそのカテゴリーの最後に出走する。
- ② 選手は前者の出発後直ちにスタート位置につき準備を整える。
- ③ 選手はスタート審判の合図によりスタートする。 直ちにスタートしない場合は当該種目を危険したものとみな す。

○ フィニッシュに関して

フィニッシュはコート下部の左右にある目印を結ぶフィニッシュラインの通過をもって演技の終了とする。

○ 競技の中断に関して

- 1 競技を中断した場合はその位置で体制を整え再スタートをする。中断が長引く場合は統括審判長(審判長)の指示に従う。
- ② 選手は係員の補助をうけることができる。
- ③ やむをえず途中棄権する場合はその旨を係員に告げ速やかにコート外に移動する。この場合は当該種目の 得点はO点とするが次の種目からの出場権は維持される。

○ 抗議に関して

講義は監督またはコーチが書類をもってセクレタリーに提出する。ただし、急を要する場合は、当該コートの統括審判長(審判長)に申し出ることができる。

○ 審判員・審判方法に関して

- 審判員は全日本スキー連盟から委嘱された者があたる。
- ② 競技種目の採点は公開表示による5審判3採用で行う。
- ③ 規定違反の減点は審判団の中で協議する。

○ 広報・掲示当に関して

大会の成績及び変更内容は公式掲示をする。

その他

競技会中のすべての最終決定は裁定委員会の決定による。

〇 順位の決定

3種目の合計点で決定する。

なお、同点の場合は、次の方法により順位を決定する。

- ① フリーランの得点が高い者。
- ② 上記で決しない場合は、ショートターンの得点が高い者。
- ③ 上記で決しない場合は、同順位とする。